## 電子飛跡検出型コンプトンカメラ(ETCC)による イメージング核分光法の確立



#### 21/Feb/2016 宇宙核物理研究会NAOJ

#### 谷森達

高田淳史,水村好貴,古村翔太郎,岸本哲朗,竹村泰斗,宮本奨平,中増勇真,吉川慶,窪秀利,水本哲矢,園田真也,友野大,Parker Joseph,中村輝石,松岡佳大,小田真(京大理学研究科)、身内賢太朗(神大理),澤野達哉(金大理)、黒澤俊介(東北

## 21世紀の科学をリード出来るMeVガンマ線天文学



### 昨年までのSMILE

100

- 高雑音除去率 :電子飛跡dE/dx 雑音を1/10
- 2006年 気球実験 2桁の宇宙雑音除去に成功
- 有効面積: 1cm<sup>2</sup>以上は実現、10倍の改善可能
- 角度分解能 ARM 5度(半値)@662keV、SPDは200度
- 不明確なPSF ためスペクトロスコピー能力が判断できず.



50cm角立方 CF4 3atm 110cm<sup>2</sup> @1MeV COMPTEL 約 02×2m 有効面積 20cm<sup>2</sup>



半導体CC

beam line

beam line

#### Electron-Tracking Compton Camera (ETCC) in SMILE-II



## 1mCrabを確実に達成するには!

#### ■ 革新的なMeV γ 天文学には感度(significance) ~10-13 erg cm-2 s-1 /5年-> COMPTELの500倍

Significan ce 
$$\propto \frac{EA \bullet S}{\sqrt{EA \bullet (S + BG \bullet \theta^2)}}$$

S: シグナル量 *h*: PSF

1.Significance~√(EA•S) シグナルが卓越

2. Significance  $\propto \frac{EA \bullet S}{\theta \sqrt{EA \bullet BG}}$  雑音が卓越





- 1. **有効面積 (EA)** >2×100 cm<sup>2</sup> 可能!
- 2. 低雑音(BG) --> 宇宙背景ガンマ線 可能! 但し、強強力な雑音除去法必要 dE/dxなど ETCCのみ
- 3. 焦点型PSF  $\theta \sim 1^\circ$  が不可欠 => 電子飛び検出
  - 1. 各種コンプトンカメラで可能
  - 2,3高精度電子飛師検出が鍵となる!(認識されていない)



# Point Spread Function in Compton Camera



#### イメージング核スペクトロスコピー in ETCC

110 de 10 )

RSF 2° 0.004sr 維音 1/500

PSF 5° ΔΩ = 2π(1-cos5)=0.02sr 雑音が~1/150に低減

#### 2016年夏以後公開予定

トルにコンプトレエッジが現れない

CC法でコンプトンエッジを作る

事象(方向が間違う事象)

## 他の線源からターゲットへの染みこみ効果

<sup>137</sup>Csの周囲5度径のスペクトルを取る。

→定量性が大きく低減する。

PSFが大きい従来コンプトンカメラは周囲のRIから

#### 2016年夏以後公開予定

ETCC with PSF = 15°

0.45

14.60

ETCC with PSF =12°

# 今後の計画 気球から宇宙へ

#### 感度、有効面積とPSFで完全に決定出来た!



#### Imaging Spectroscopy の威力



## Imaging Spectroscopy の例(環境調査)



### ETCC Imaging Spectroscopyで可能になる観測例



## Summary

- ◆核ガンマ線の真の画像化を放射線発見依頼初めて実現、観測を阻む問題を解決(Tanimori et al., ApJ (2015), 810, 28)
- ◆核ガンマ線イメージング分光を初めて実現、ガンマ線利用に大きな 進歩(論文準備中)
- ◆広視野、PSF1度以下、分光、偏光を一つの測定で実現、21世紀の 天文学の牽引役になれる(最遠方、最大爆発、元素合成、、)
- ◆これを実現するためJAXA豪州気球で銀河観測と極域観測で COMPTELの5分の1以下の半球探査の早急な実現!
- ◆JAXAのワーキンググループ申請(小型プロジェクトB申請のため) に協力を、関心ある方々のSMILEへの参加を切望